

# その他の災害

## 弾道ミサイル落下時

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。



Jアラート

(例) 直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら  
落ち着いて、直ちに行動してください。

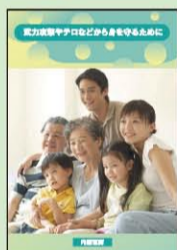
### 近くの頑丈な建物に避難。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。地下があれば地下に避難してください。

物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。  
窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

近くに  
ミサイル  
落下!

- 屋外にいる場合:口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合:換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。



国民保護ポータルサイト  
武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。  
[http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryuu/hogo\\_manual.html](http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryuu/hogo_manual.html)

ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます



首相官邸  
ホームページ

<http://www.kantei.go.jp/>



Twitterアカウント  
首相官邸災害・危機管理情報  
@Kantei\_Saigai

出典:内閣府

## 原子力災害発生時

宮城県牡鹿郡女川町と石巻市にまたがる東北電力株式会社女川原子力発電所で災害が発生した際、落ちついた対応が大切です。

### 落ち着いた対応が大切!!

#### 屋内退避が安全への第1歩!!

屋内退避することで、建物の気密性と遮へい効果により、放射線による影響を回避したり、低減させることができます。

#### 屋内退避時のポイント

- 顔や手を洗い、うがいをしましょう。衣類も着替えましょう。
- 換気扇は止めましょう。
- 食品にはラップやふたをしましょう。
- 正確な情報を確認しましょう。
- 窓は閉めましょう。

※多賀城市では石巻市の避難者を受け入れることとなっています。

出典:内閣府 屋内退避に係る広報チラシ

## 石油コンビナート災害発生時

「石油コンビナート等災害防止法」に基づき、大量の石油又は高圧ガスが取り扱われている「石油コンビナート等特別防災区域」を政令で指定し、消防法、高圧ガス保安法、災害対策基本法等と相まって、特別防災区域における総合的な防災対策の推進を図っています。

宮城県では、「石油コンビナート等特別防災区域」として、「仙台地区」と「塩釜地区」を設け、平常時の災害予防をはじめ、災害時(訓練含む)には、石油コンビナート等防災本部を構成する県、市町村、関係行政機関、事業者等が一体となって総合的かつ計画的に対応することとしています。